

海外新着情報（5月更新）

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

○ 中国

・中国入国者の隔離期間短縮の取組み（8都市での試行）について

～中国（上海、蘇州、寧波、廈門、広州、青島、大連、成都）～（2022年4月25日）

4月13日から、8つの都市（上海、蘇州、寧波、廈門、広州、青島、大連、成都）において海外から中国国内へ入国する人の隔離期間を1か月間の暫定で10日間のホテル隔離（+7日の自宅健康観察）に短縮する政策が実施されています。（ただし、正式な政府通知はなし。）

10日間のホテル隔離期間に行われるPCR検査の結果がすべて陰性であり、また事前に自宅所在地の社区（地域コミュニティ）に対して申請・許可を受ける必要があります。大連市では現時点では社区ごとに対応が異なっており、10日間に短縮できた人とできない人の両方がいるとのこと。

今回の政策が適用できる場合、大連の場合は21日間のホテル隔離が10日に短縮されることから、現地の人々の間では今後の継続と適用範囲の拡大、さらなる短縮が期待されています。

○ 東南アジア地域

・タイ入国時のPCR検査、5月1日以降不要へ

～ タイ・バンコク ～（2022年4月25日）

タイ政府は、5月1日以降、新型コロナウイルスワクチンの接種を完了した渡航者について、入国時のPCR検査を不要とすることを決めました。未接種の場合には、渡航前の検査で陰性を証明できれば、隔離措置を免除します。

併せて、隔離プログラムである「テスト・アンド・ゴー（Test&Go）」についても廃止し、入国1日目のPCR検査結果判明までの待機用ホテル予約や空港からホテルまでの送迎の事前予約を不要としています。よって、タイ入国時の規制はほぼ撤廃されることとなりました。

・入国時の空港でのPCR検査が不要に

～ インドネシア ～（2022年4月19日）

インドネシア政府の新型コロナウイルス対応タスクフォースは、入国者が到着時に

空港で受ける PCR 検査を 4 月 5 日から不要とする通達を施行しました。なお、体温が 37.5 度以上と診断された外国人入国者は、自費で空港での PCR 検査を受診する必要があります。

• 陸路からの入国について居住者は健康申告不要に

～ シンガポール ～ (2022 年 4 月 19 日)

シンガポール移民局は 13 日、15 日以降、陸路でマレーシアから入国するシンガポール国民、永住権保持者、長期滞在ビザ保有者について、入国前の健康申告義務を廃止すると発表しました。

• 出発前検査を廃止

～ シンガポール ～ (2022 年 4 月 25 日)

シンガポール保健省は 22 日、26 日以降、ワクチン接種完了者に義務付けている入国前の PCR 検査を完全に撤廃することを発表しました。

• 26 日から人数制限などを緩和

～ シンガポール ～ (2022 年 4 月 25 日)

シンガポール保健省は 22 日、26 日から、マスク非活用のグループ活動の上限 (10 人) や出社の人数制限 (在宅勤務が可能な従業員の 75%) を撤廃することを発表しました。

○ 北米地域

• TSA がマスク着用義務を廃止 / CDC と国務省、日本への渡航注意レベルを引き下げ

～ 米国・ニューヨーク ～ (2022 年 4 月 20 日)

4 月 18 日に、フロリダ州連邦地裁が公共交通機関内でのマスク着用の義務化は違法であり無効と判断したことを受け、米国運輸保安局 (TSA) は同日、これまで義務付けてきた公共交通機関とその構内でのマスク着用義務を廃止すると発表しました。TSA は発表で、CDC は引き続き、公共交通機関の屋内ではマスクの着用を推奨しているとしています。

また、CDC は 4 月 18 日付で各国への渡航注意レベルの基準を変更し、今まで「レベル 4 : (新型コロナウイルスによるリスクが) 非常に高い (Very High)」だった日本を含む 123 カ国・地域が「レベル 3 : 高い (High)」に更新されました。米国務省 (DHS) も同日、日本への渡航勧告レベルを「レベル 4 : 渡航を中止せよ (Do not travel)」から「レベル 3 : 渡航を再考せよ (Reconsider Travel)」に更新しました。